

平成 26 年 7 月 30 日

報道関係各位

めざせ国際プログラミングコンテスト！
滝沢第二中学校科学部との SPP 事業「Ruby プログラミング教室・発表会」開催

このたび、岩手県立大学いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター(i-MOS)では、科学技術振興機構(JST)のSPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)事業を活用し、滝沢第二中学校の科学部員を対象に8月7日(木)～8月10日(日)まで「Ruby プログラミングに挑戦(オリジナルアイデアプログラムを作ってみよう)」を実施することとなりましたので、お知らせします。

教室では本学の研究員と学生が講師となって、Ruby 言語を用いてゲームを作成する実習を行い、プログラミングの基礎を学びます。滝沢第二中学校科学部はこの体験教室の成果を生かして、12月に開催される「中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト U-15 の部」に応募することを目標としています。

当日のご取材・報道についてよろしくお願ひします。

記

■日程及び内容：

8月7日(木) 13:00～16:00 「プログラムの書き方、入出力と制御方法について学習」

8月8日(金) 9:00～16:00 「画像の出し方、動かし方について学習」

8月9日(土) 9:00～16:00 「ゲームとしての機能の作成」

8月10日(日) 9:00～16:00 「グループ発表及び総評」(※14時頃から生徒による発表の予定
ですので、10日午後に取材をお願いできればと考えております)

■場 所：岩手県立大学地域連携棟 システム実習室

■受 講 者：滝沢第二中学校 科学部員 28名(1年生12名、2年生5名、3年生11名)(予定)

※引率教員 科学部顧問 山口晋先生

■講 師：プロジェクト研究員 福原和哉

TA(ティーチングアシスタント) 5名(ソフトウェア情報学部4名、総合政策学部1名)

■概 要：①入門テキストとパソコンを使用し、Ruby 言語を用いてりんご爆弾ゲームを作成する実習を行い、プログラミングの基礎を学びます。

②体験教室の成果を生かし、12月6日(土)に三鷹市で開催される「中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト 2014 in Mitaka」U-15(アンダー15)の部に応募することを目標としています。

■実施主体：いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター(i-MOS)

【参考：SPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム)】 <http://www.jst.go.jp/cpse/spp/>

科学技術振興機構(JST)が、児童生徒等の科学技術、理科、数学に対する興味・関心と知的探究心等を育成することを目的として、小・中・高等学校等と大学・科学館等との連携により体験的・問題解決的な学習活動を実施する際の経費を支援するもの。

今回の事業は、平成26年度のプログラムとして、平成26年3月に採択されたもの。